

早稲田大学 人間科学学術院 人間科学会 諸費用補助成果報告書（Web 公開用）

申請者（ふりがな）	鈴木 操 （ すずき みさお ）
所属・資格（※学生は課程・学年を記載。卒業生・修了生は卒業・修了年月も記載）	所属：人間科学部 eschool 人間環境科学科 一般社団法人彩の国思春期研究会 田中レディスライフクリニック 資格：助産師・看護師
発表年月 または事業開催年月	2025 年 8 月
発表学会・大会 または事業名・開催場所	第 44 回日本思春期学会総会・学術集会
発表者（※学会発表の場合のみ記載、共同発表者の氏名も記載すること）	鈴木操 松井絵里加 木村環 高橋幸子
発表題目（※学会発表の場合のみ記載）	埼玉県におけるユースクリニック運営と継続的实施に向けた課題（第 2 報）
発表・活動・開催の概要と成果（学会発表の場合、抄録を公開している URL がある場合、「概要・成果」を記載した上で、URL を末尾に記してください。また、抄録 PDF は別途ご提出ください。なお、抄録 PDF は Web 上には公開されません。）	
2025 年 8 月 30 日～31 日に行われた第 44 回日本思春期学会総会・学術集会にポスター演題として発表させていただく機会を頂き、参加してまいりました。 下記に大会 HP を記します。 https://www.pw-co.jp/44jsa2025/ 私が所属する一般社団法人彩の国思春期研究会では、昨年度第一報として日本思春期学会にユースクリニックの活動とその課題について発表させていただきました。今回は、その後の活動における課題の成果と今後の課題と展望についてご報告させていただく演題を申請し、発表の機会を得ることができました。 私が彩の国思春期研究会の活動に参加したのは、昨年 9 月ごろのことでした。第一報の発表には立ち会うことができませんでしたが、第 2 報を仲間とともに作成・報告させていただき、早稲田で学んだ人類学やジェンダー論、データリテラシーなどをこの活動で活かすことができました。これらの学びと活動は私の自信につながっています。今後も、社会人大学生のかたわら、研究活動を続けていきたいと思います。	